

劇団民藝公演

泰山木の 木の下で

作 小山祐士
演出 丹野郁弓

監修 石井みつる
照明 前田照夫
衣裳 緒方規矩子
音楽 齋藤一郎

編曲 湯淺隆
吉田剛士
効果 岩田直行
舞台監督 深川絵美



私たちの明日は——
瀬戸内の劇詩人小山祐士が
ヒロシマの祈りを
美しい詩情と哀欲で描く

出演

日色ともゑ

船坂博子

桜井明美

八木橋里紗

神保有輝美

佐々木郁美

松田史朗

千葉茂則

吉岡扶敏

天津民生

塩田泰久

吉田正朗

平野尚

大中耀洋

湯淺隆

吉田剛士

WUZICNET / マリオンネット



千葉茂則



松田史朗



船坂博子



日色ともゑ



塩田泰久



天津民生



吉岡扶敏



八木橋里紗



桜井明美



大中耀洋



平野 尚



吉田正朗



佐々木郁美



神保有輝美



マンドリン
吉田剛士

(MUZIC@NET/マリオネット)



ポルトガルギター
湯浅隆

泰山木の 木の下で

小さな汽船が行き来する瀬戸内海の小さな島。白い大きな花をつける泰山木。その木の下で質素に暮らすハナ婆さん(日色ともゑ)は、貧しいながらも9人の子どもを産み、戦争中に優良多子家庭として表彰されました。しかし3人の子は戦死、のこる6人の子までも、広島原爆で亡くしていました。思えば、殺されるために産んだようなものだ……。悲しい体験をもつハナは戦後、人助けのつもりで、頼まれると密かに子どもをおろしてやっていたのです。

早春のある日、ひとりの男が泰山木の家を訪れます。墮胎の罪でハナ婆さんを逮捕しにやって来た木下刑事(塩田泰久)です。御幸署へ連行する船中でハナ婆さんの話を聞く木下刑事も、また誰にも言えない苦悩を抱えていたのです……。

瀬戸内海の美しい叙情と、時代の波に抗いながら必死に生きる人びとの哀歎をうたいあげる小山祐士作品。1963年初演いらい宇野重吉演出・北林谷栄主演により、ロングラン上演を重ねてきました。このたびは丹野都弓演出で、あらたに日色ともゑがハナ婆さんを継いでいきます。